

令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査結果  
報告書

令和4年10月

福島県

## 目次

1. 件名 .....	1
2. 調査目的 .....	1
3. 調査内容 .....	1
(1) 調査地点及び地点の選定理由 .....	1
(2) 調査頻度と調査時期 .....	4
(3) 調査方法 .....	4
4. 調査結果 .....	9
4-1 相馬海岸 No.8 原釜 .....	9
4-2 浪江海岸 No.42 請戸 .....	14
4-3 磐城海岸 No.110 小浜 .....	19

### 添付資料

- ・データシート
- ・写真帳

## 1. 件名

令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務

## 2. 調査目的

福島県では、海の良い景観及び環境の維持・向上を推進するため、「美しく豊かな自然を保護するための海岸における良好な景観及び環境並びに海洋環境の保全に係る海岸漂着物等の処理等の推進に関する法律」第14条第1項の規定に基づき、令和元年5月に「福島県海岸漂着物対策推進地域計画」（以下「地域計画」という。）を策定し、海岸漂着物対策を推進することとした。

海岸漂着物対策を効果的に講じるためには、福島県における海岸漂着物等の組成や存在量を把握し、さらにはそれらの経年的変化や発生原因を把握する必要があることから、地域計画に基づき、県内の海岸における海岸漂着物等のモニタリング調査を実施した。

## 3. 調査内容

福島県内の海岸3地点において漂着物の量、組成及び発生原因に関する調査を実施した。

### （1）調査地点及び地点の選定理由

調査地点と選定理由を表1に示す。また調査地点を図1～図3に示す。

全地点において経年変化を把握するため昨年度と同地点で調査を行った。

表1 調査地点と選定理由

区域	海岸名	目的	選定理由
新地町～南相馬市の海岸	相馬海岸 No.8 原釜	海域からの影響 把握のため	閉鎖中であり海岸線が100m以上あるため
浪江町～広野町の海岸	浪江海岸 No.42 請戸	海域からの影響 把握のため	閉鎖中であり海岸線が100m以上あるため
いわき市の海岸	磐城海岸 No.110 小浜	海域からの影響 把握のため	閉鎖中であり海岸線が100m以上あるため



図1 調査地点図 (相馬海岸 No.8 原釜)

出典: 国土地理院ウェブサイト ([https://maps.gsi.go.jp/index\\_m.html](https://maps.gsi.go.jp/index_m.html)) (参照: 2022. 07. 22)

注: 地理院地図の標準地図を加工して作成

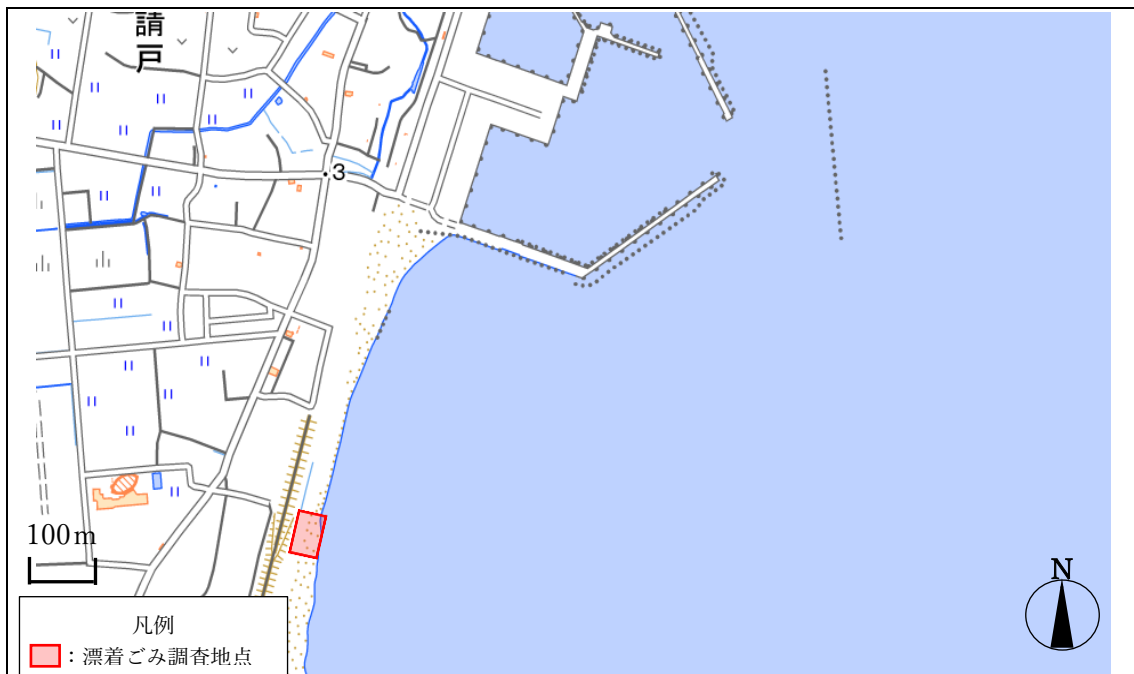


図2 調査地点図 (浪江海岸 No.42 請戸)

出典: 国土地理院ウェブサイト ([https://maps.gsi.go.jp/index\\_m.html](https://maps.gsi.go.jp/index_m.html)) (参照: 2022. 07. 22)

注: 地理院地図の標準地図を加工して作成





出典：国土地理院ウェブサイト ([https://maps.gsi.go.jp/index\\_m.html](https://maps.gsi.go.jp/index_m.html)) (参照：2022. 07. 22)

注：地理院地図の標準地図を加工して作成

## (2) 調査頻度と調査時期

2022年7月5日～8日の間で各地点において調査を1回実施した。各地点の調査年月日を表2に示す。

表2 調査地点と調査年月日

海岸名	調査年月日
相馬海岸 No.8 原釜	2022年7月8日
浪江海岸 No.42 請戸	2022年7月6日～2022年7月7日
磐城海岸 No.110 小浜	2022年7月5日

## (3) 調査方法

漂着ごみ組成調査は、環境省が作成した「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン(令和2年6月第2版)」(以下ガイドライン(第2版)と示す。)の「7. 調査方法」に基づき実施した。但し、データシートは令和3年10月に更新されたガイドライン(以下ガイドライン(第3版)と示す。)に基づいた。具体的な方法を下記に示す。

### ① サンプル単位(汀線方向の幅)

ガイドライン(第2版)に従い、漂着ごみの調査範囲は汀線方向の幅を50mとした。奥行については、対象地海岸汀線から海岸の后背地(植生のあるところ)までの範囲が広くごみの量も多かったため汀線から30mまでの範囲とした。但し、No.42 請戸は汀線から30m～35m付近に漂着ごみが多数点在していたため50mまでとした。

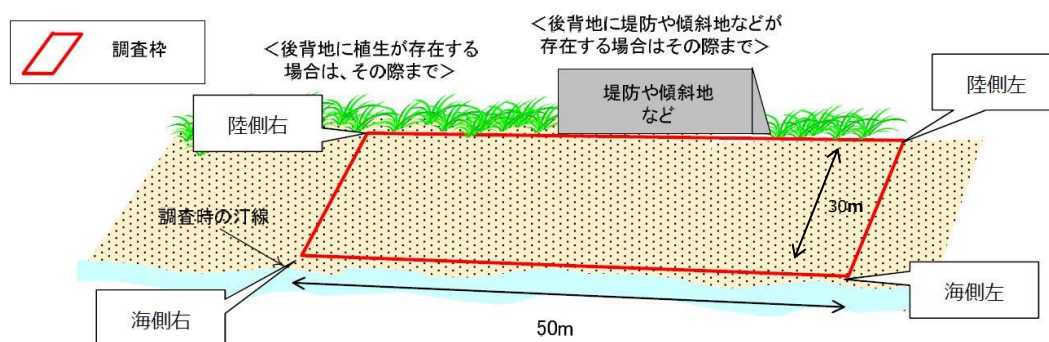


図4 サンプル範囲概略図

## ② サンプルング方法

長さが 2.5 cm 以上のごみを全て回収した。調査範囲に植生等がある場合は、植物類をむやみに引き抜いたり、植生内にむやみに立ち入らないよう配慮した。また、調査時に以下を記録した。

- ・ 調査日時
- ・ 回収開始時間及び終了時間
- ・ 調査対象範囲の清掃及び台風、豪雨の有無
- ・ 調査時の海岸の奥行き（当時の潮位から海岸の後背地まで）
- ・ 調査参加人数

## ③ ごみの定量方法

分類した漂着ごみは、分類項目毎に重量、容積、個数を計測した。容積は漂着ごみをごみ袋やバケツ等に入れた「かさ容積」で測定した。なお、回収中に破損等により個数が変化してしまう人工物の破片（発泡スチロール類の破片等）は、個数の計測を行わず、重量及び容積のみを測定した。人力で移動できない自然物は長さや容積を記録した。

また、ペットボトル、ペットボトルのキャップおよび漁具の浮子については、言語表記別に分類した。

## ④ ごみの分類と記録表

ガイドライン(第3版)の別紙4の漂着ごみ分類表(必須項目)に従って回収したごみを分類し、ガイドライン(第3版)に添付されている下記の記録表に記録した。また、調査対象地点における漂着物の状況を記録するため、写真撮影を行った。表3、4に漂着ごみ分類表を示す。

- ・ ガイドライン(第3版)にある漂着ごみデータシート(必須項目)
- ・ 言語表記等調査データシート

## ⑤ 回収したごみの適切な処理

回収したごみは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、地元自治体の廃棄物処理計画や指導に従って適正に処理を行った。

表3 漂着ごみ分類表 (1/2)

大分類	必須項目	オプション項目	プラ分類	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	容器包装	
	ボトル<1L	飲料用(ペットボトル)<1L	飲料用(ペットボトル)<1L	容器包装
		その他のプラボトル<1L	その他のプラボトル<1L	容器包装
		飲料用(ペットボトル)≥1L	飲料用(ペットボトル)≥1L	容器包装
		その他のプラボトル類≥1L	その他のプラボトル類≥1L	容器包装
		ストロー	ストロー	製品
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	製品	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	コップ、食器		製品
		食品容器		容器包装
	ポリ袋(不透明&透明)	食品の容器包装		容器包装
		レジ袋		容器包装
		その他プラスチック袋		容器包装
	ライター	ライター	製品	
	シリンジ、注射器	シリンジ、注射器	製品	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	製品	
	シートや袋の破片	シートや袋の破片	その他	
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片	その他	
	ウレタン	ウレタン	その他	
	浮子(ブイ)(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	海域由来	
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	海域由来	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	海域由来	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	海域由来	
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	海域由来	
	漁網(漁具)	漁網(漁具)	海域由来	
	その他の漁具(漁具)	釣りのルアー、浮き		海域由来
		かご漁具		海域由来
		釣り糸		海域由来
		その他の漁具		海域由来
	その他	たばこ吸殻(フィルター)		製品
		生活雑貨(歯ブラシ等)		製品
		花火		製品
		玩具		製品
		プラスチック梱包材		容器包装
6バックホルダー			容器包装	
苗木ポット			製品	
分類に無いもので多数見つけた場合には記載			品目による	
その他			品目による	
(発泡スチロール)		コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	容器包装
			コップ、食器(発泡スチロール)	製品
	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	海域由来	
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片	その他	
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	容器包装	
	その他	分類に無いもので多数見つけた場合には記載	品目による	
	その他	品目による		

表3 漂着ごみ分類表 (2/2)

大分類	必須項目	オプション項目	プラ分類
ゴム	ゴム	タイヤ 玩具、ボール 風船 靴(サンダル、靴底含む) ゴムの破片 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材 食品容器 ガラス、陶器の破片 食品以外容器 コップ、食器 電球 蛍光管 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
金属	金属	ピンのふた、キャップ、プルタブ アルミの飲料缶 スチール製飲料用缶 金属製コップ、食器 フォーク、ナイフ、スプーン等 その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等) 金属片 ワイヤー、針金 金属製漁具 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器 タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む) 花火 紙袋 食品包装材 紙製容器(飲料用紙パック等) 紙片(段ボール、新聞紙等を含む) 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む) 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満) 流木(径10cm以上、長さ1m以上) 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
人力で動かせない物			

表 4 言語表記等調査結果表

ペットボトル				ペットボトルのキャップ			漁業用の浮子 (プラ以外を含む。)		
項目	バーコード記載/表記言語 (最初の2ケタ or 3ケタ)	製造国	個数	項目	表記言語	個数	項目	表記言語	個数
ペット ボトル	49 or 45	日本		ペット ボトル の キャ ップ	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)		漁 業 用 の 浮 子	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)	
	69	中国			中国・台湾(漢字)			中国・台湾(漢字)	
	880	韓国			韓国(ハングル)			韓国(ハングル)	
	471	台湾			ロシア(ロシア語)			ロシア(ロシア語)	
	46	ロシア			不明(文字読取れず)			不明(文字読取れず)	
	不明(バーコード読取れず)	—			(表記言語) 英語			(表記言語) _____	
	バーコード読取可能 ( )				(表記言語) フランス			(表記言語) _____	
	バーコード読取可能 ( )				(表記言語) 何語かわからず			(表記言語) _____	
	バーコード読取可能 ( )				(表記言語) _____			(表記言語) _____	
	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)				(表記言語) _____			(表記言語) _____	
	中国・台湾(漢字)				(表記言語) _____			(表記言語) _____	
	韓国(ハングル)				(表記言語) _____			(表記言語) _____	
	ロシア(ロシア語)				(表記言語) _____			(表記言語) _____	
	不明(文字読取れず)	—			(表記言語) _____			(表記言語) _____	
	(表記言語) _____				(表記言語) _____			(表記言語) _____	
	(表記言語) _____				(表記言語) _____			(表記言語) _____	
(表記言語) _____			(表記言語) _____		(表記言語) _____				

## 4. 調査結果

### 4-1 相馬海岸 No.8 原釜

「人工物と自然物の組成」と「人工物の組成」を表 5、6 に示し、それぞれの組成比を図 5、6 に示す。また、「言語表記等調査結果」を表 7 に示す。

「人工物と自然物の組成」では、重量(kg)、容積(L)ともに、自然物がそれぞれ 90 % 以上を占めていた。個数は自然物が 53.2 %を占めていた。

「人工物の組成」は、重量(kg)ではプラスチックが 44.1 %で最も多く、木(木材等)が 42.8 %、金属が 8.6 %であった。容積(L)でもプラスチックが 58.4 %で最も多く、木(木材等)が 27.4 %、発泡スチロールが 13.7 %であった。個数としては確認できる範囲ではプラスチックが最も多く全体の約 91.2 %を占めていた。

「言語表記等調査」では、ペットボトル及びペットボトルキャップは日本と製造国不明のものが確認された。漁業用の浮子は確認されなかった。

表 5 相馬海岸 No.8 原釜の人工物と自然物の組成

項目	重量(kg)	容積(L)	個数
人工物	2.22	10.96	181
自然物	166.97	910.00	206
合計	169.19	920.96	387

※自然物（灌木）の個数は数えていない。

※人力で回収できない自然物（流木）が1個あり、  
容積のみ計測(71 L)、重量不明のため上記表には  
含めていない。

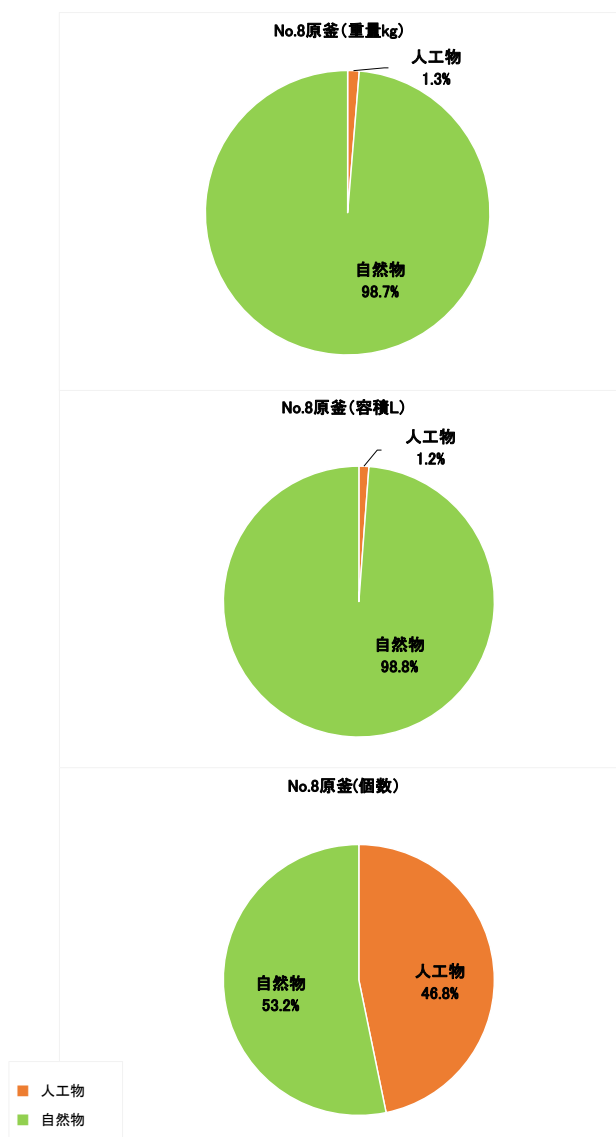


図 5 相馬海岸 No.8 原釜の人工物と自然物の組成比



表6 相馬海岸 No.8 原釜の人工物の組成

項目	重量(kg)	容積(L)	個数
プラスチック	0.98	6.40	165
発泡スチロール	0.06	1.50	1
ゴム	0.03	0.02	4
ガラス、陶器	0.01	0.01	1
金属	0.19	0.03	4
紙、ダンボール	0.00	0.00	0
天然繊維、革	0.00	0.00	0
木(木材等)	0.95	3.00	6
電化製品、電気機器	0.00	0.00	0
合計	2.22	10.96	181

※シートや袋の破片、硬質プラスチックの破片、発砲スチロールの破片は個数を数えていない。

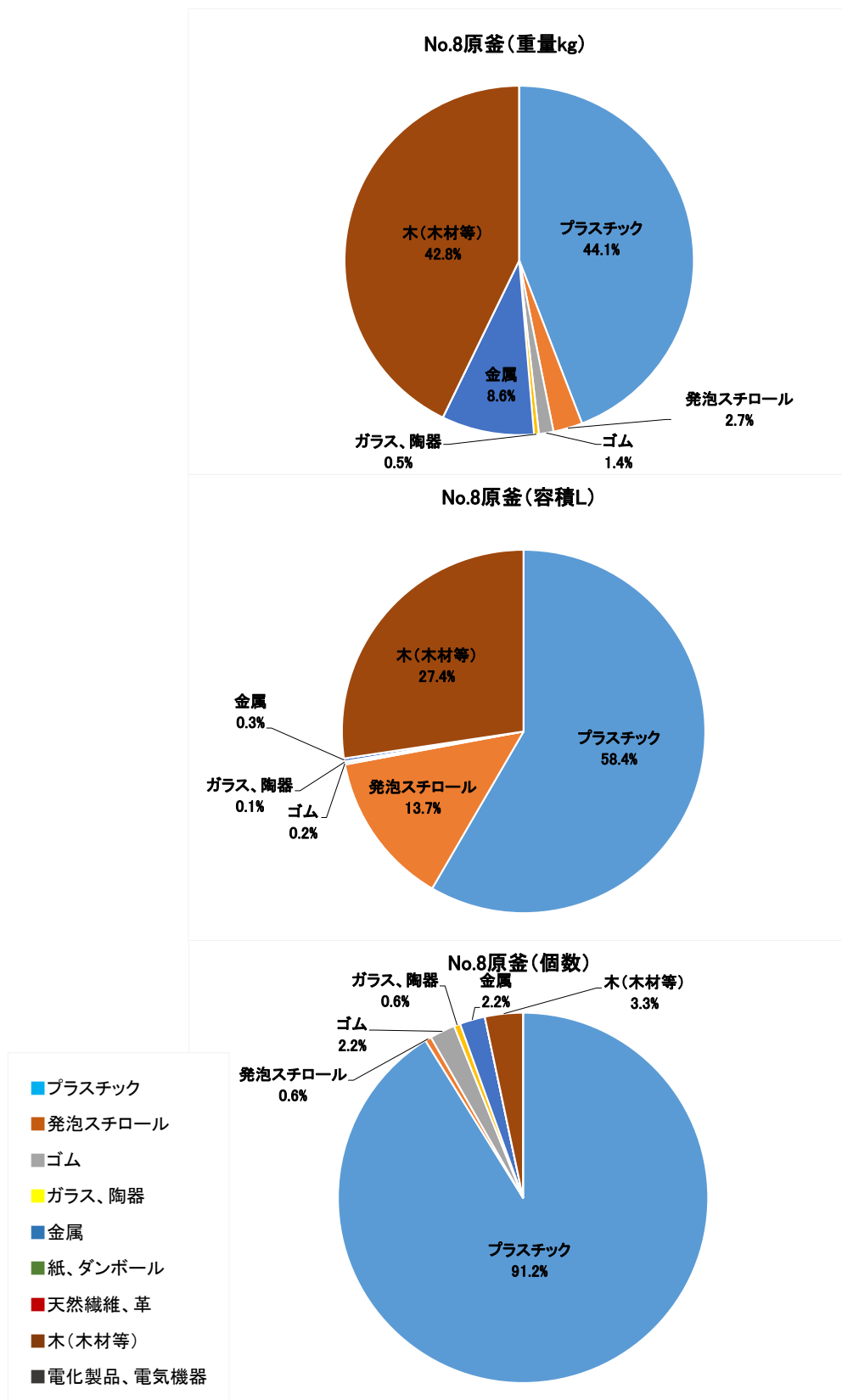


図6 相馬海岸 No.8 原釜の人工物の組成比

表 7 相馬海岸 No.8 原釜の言語表記等調査結果

ペットボトル				ペットボトルのキャップ			漁業用の浮子(ブラ以外を含む。)		
項目	バーコード記載/表記言語 (最初の2ケタ or 3ケタ)	製造国	個数	項目	表記言語	個数	項目	表記言語	個数
ペット ボト ル	49 or 45	日本	3	ペ ッ ト ボ ト ル の キ ャ ッ プ	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)	3	漁 業 用 の 浮 子	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)	0
	69	中国	0		中国・台湾(漢字)	0		中国・台湾(漢字)	0
	880	韓国	0		韓国(ハングル)	0		韓国(ハングル)	0
	471	台湾	0		ロシア(ロシア語)	0		ロシア(ロシア語)	0
	46	ロシア	0		不明(文字読取れず)	1		不明(文字読取れず)	0
	不明(バーコード読取れず)	—	2		(表記言語)英語	0		(表記言語)_____	—
	バーコード読取可能 ( )	—	—		(表記言語)フランス	0		(表記言語)_____	—
	バーコード読取可能 ( )	—	—		(表記言語)何語かわからず	0		(表記言語)_____	—
	バーコード読取可能 ( )	—	—		(表記言語)_____	—		(表記言語)_____	—
	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)	—	5		(表記言語)_____	—		(表記言語)_____	—
	中国・台湾(漢字)	—	0		(表記言語)_____	—		(表記言語)_____	—
	韓国(ハングル)	—	0		(表記言語)_____	—		(表記言語)_____	—
	ロシア(ロシア語)	—	0		(表記言語)_____	—		(表記言語)_____	—
	不明(文字読取れず)	—	0		(表記言語)_____	—		(表記言語)_____	—
	(表記言語)_____	—	—		(表記言語)_____	—		(表記言語)_____	—
	(表記言語)_____	—	—		(表記言語)_____	—		(表記言語)_____	—
(表記言語)_____	—	—	(表記言語)_____	—	(表記言語)_____	—			

#### 4-2 浪江海岸 No.42 請戸

「人工物と自然物の組成」と「人工物の組成」を表 8、9 に示し、それぞれの組成比を図 7、8 に示す。また、「言語表記等調査結果」を表 10 に示す。

「人工物と自然物の組成」では、重量(kg)、容積(L)、個数において自然物がそれぞれ 90.1 %、92.2 %、69.5 %を占めていた。

「人工物の組成」は、重量(kg) ではプラスチックが 82.8 %で最も多く、木(木材等)が 12.1 %、ガラス、陶器が 3.4 %であった。容積(L) でもプラスチックが 91.7 %で最も多く、木(木材等)が 5.0 %、ガラス、陶器が 1.5 %であった。個数としては確認できる範囲ではプラスチックが最も多く全体の約 93.3 %を占めていた。

「言語表記等調査」では、ペットボトルは日本と中国・台湾、製造国不明のものが確認された。ペットボトルキャップは日本と製造国不明のものが確認された。漁業用の浮子は日本と中国・台湾、製造国不明のものが確認された。

表 8 浪江海岸 No.42 請戸の人工物と自然物の組成

項目	重量(kg)	容積(L)	個数
人工物	23.51	79.24	284
自然物	214.00	935.00	647
合計	237.51	1014.24	931

※自然物の細かい破片の個数は数えていない。

※人力で回収できない自然物（流木）が1個あり、容積のみ計測(97 L)、重量不明のため上記表には含めていない。

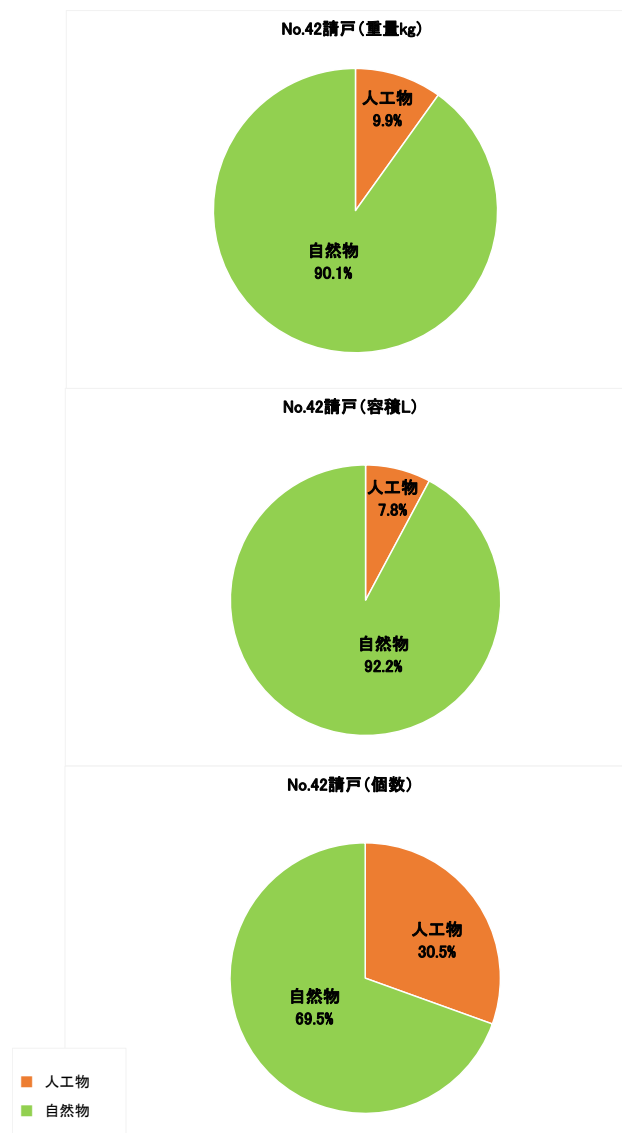


図 7 浪江海岸 No.42 請戸の人工物と自然物の組成比

表9 浪江海岸 No.42 請戸の人工物の組成

項目	重量(kg)	容積(L)	個数
プラスチック	19.46	72.64	265
発泡スチロール	0.13	0.90	2
ゴム	0.09	0.10	3
ガラス、陶器	0.80	1.20	3
金属	0.19	0.40	2
紙、ダンボール	0.00	0.00	0
天然繊維、革	0.00	0.00	0
木(木材等)	2.84	4.00	9
電化製品、電気機器	0.00	0.00	0
合計	23.51	79.24	284

※シートや袋の破片、硬質プラスチックの破片、発砲スチロールの破片は個数を数えていない。

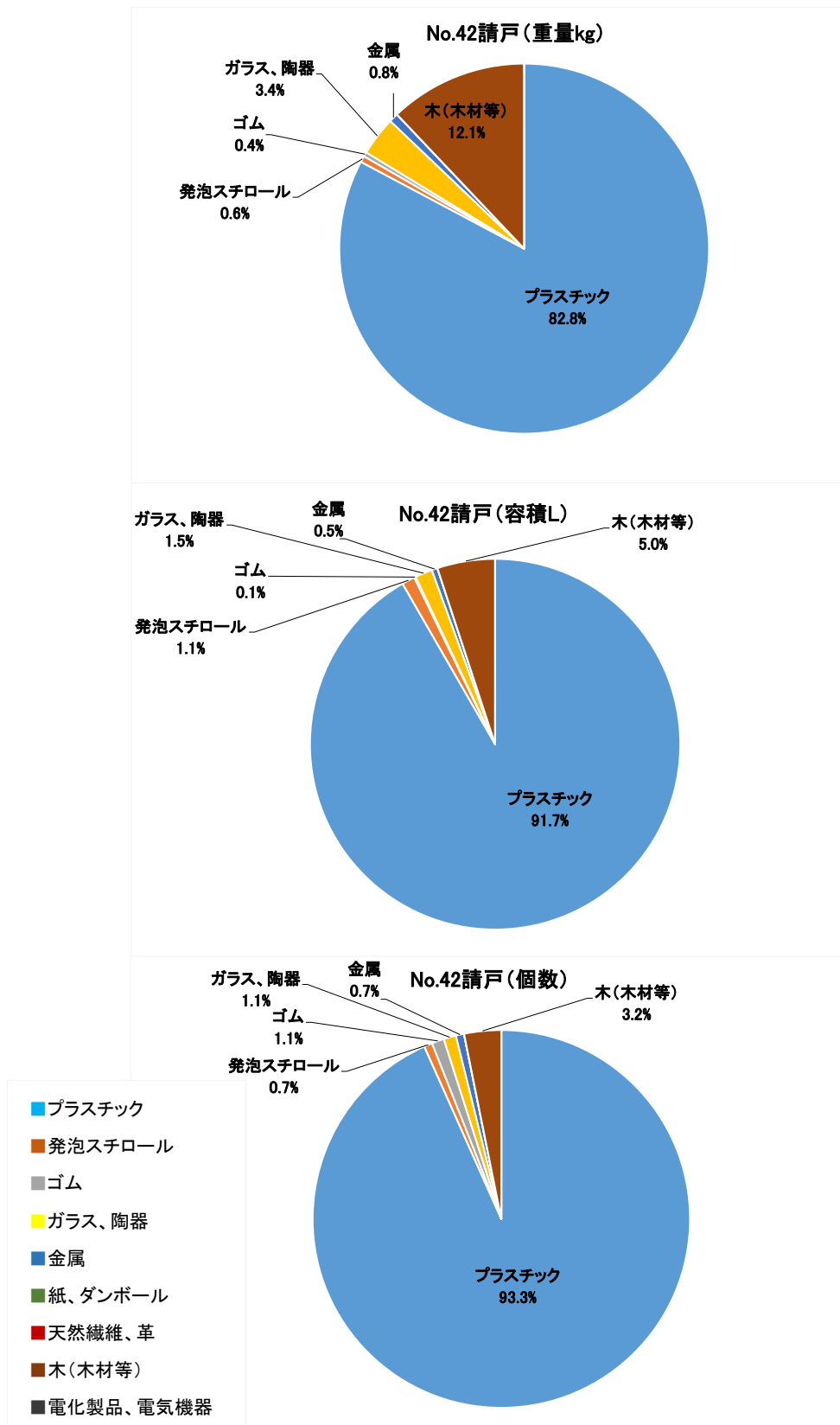


図 8 浪江海岸 No.42 請戸の人工物の組成比

表 10 浪江海岸 No.42 請戸の言語表記等調査結果

ペットボトル				ペットボトルのキャップ			漁業用の浮子(ブラ以外を含む。)		
項目	バーコード記載/表記言語 (最初の2ケタ or 3ケタ)	製造国	個数	項目	表記言語	個数	項目	表記言語	個数
ペット ボト トル	49 or 45	日本	4	ペ ッ ト ボ ト ル の キ ャ ッ プ	日本 (漢字・ひらがな・カタカナ)	10	漁 業 用 の 浮 子	日本 (漢字・ひらがな・カタカナ)	2
	69	中国	0		中国・台湾(漢字)	0		中国・台湾(漢字)	1
	880	韓国	0		韓国(ハングル)	0		韓国(ハングル)	0
	471	台湾	0		ロシア(ロシア語)	0		ロシア(ロシア語)	0
	46	ロシア	0		不明(文字読取れず)	6		不明(文字読取れず)	8
	不明(バーコード読取れず)	—	4		(表記言語)英語	0		(表記言語)_____	—
	バーコード読取可能 ( )		—		(表記言語)フランス	0		(表記言語)_____	—
	バーコード読取可能 ( )		—		(表記言語)何語かわからず	0		(表記言語)_____	—
	バーコード読取可能 ( )		—		(表記言語)_____	—		(表記言語)_____	—
	日本 (漢字・ひらがな・カタカナ)		5		(表記言語)_____	—		(表記言語)_____	—
	中国・台湾(漢字)		1		(表記言語)_____	—		(表記言語)_____	—
	韓国(ハングル)		0		(表記言語)_____	—		(表記言語)_____	—
	ロシア(ロシア語)		0		(表記言語)_____	—		(表記言語)_____	—
	不明(文字読取れず)	—	2		(表記言語)_____	—		(表記言語)_____	—
	(表記言語)_____		—		(表記言語)_____	—		(表記言語)_____	—
	(表記言語)_____		—		(表記言語)_____	—		(表記言語)_____	—
	(表記言語)_____		—		(表記言語)_____	—		(表記言語)_____	—



#### 4-3 磐城海岸 No.110 小浜

「人工物と自然物の組成」と「人工物の組成」を表 11、12 に示し、それぞれの組成比を図 9、10 に示す。また、「言語表記等調査結果」を表 13 に示す。

「人工物と自然物の組成」では、重量(kg)、容積(L)ともに、自然物がそれぞれ 90 % 以上を占めていた。個数は自然物が 72.8 %を占めていた。

「人工物の組成」は、重量(kg)ではプラスチックが 51.7 %で最も多く、木(木材)が 38.9 %、ガラス、陶器が 5.9 %であった。容積(L)はプラスチックが 59.3 %で最も多く、木(木材等)が 30.2 %、発泡スチロールが 4.3 %であった。個数としては確認できる範囲ではプラスチックが最も多く全体の 78.4 %を占めていた。

「言語表記等調査」では、ペットボトル及びペットボトルキャップは日本と製造国不明のものが確認された。漁業用の浮子も日本と製造国不明のものが確認された。

表 11 磐城海岸 No.110 小浜の人工物と自然物の組成

項目	重量(kg)	容積(L)	個数
人工物	7.78	23.16	111
自然物	153.25	1055.00	297
合計	161.03	1078.16	408

※自然物（灌木）の個数は数えていない。

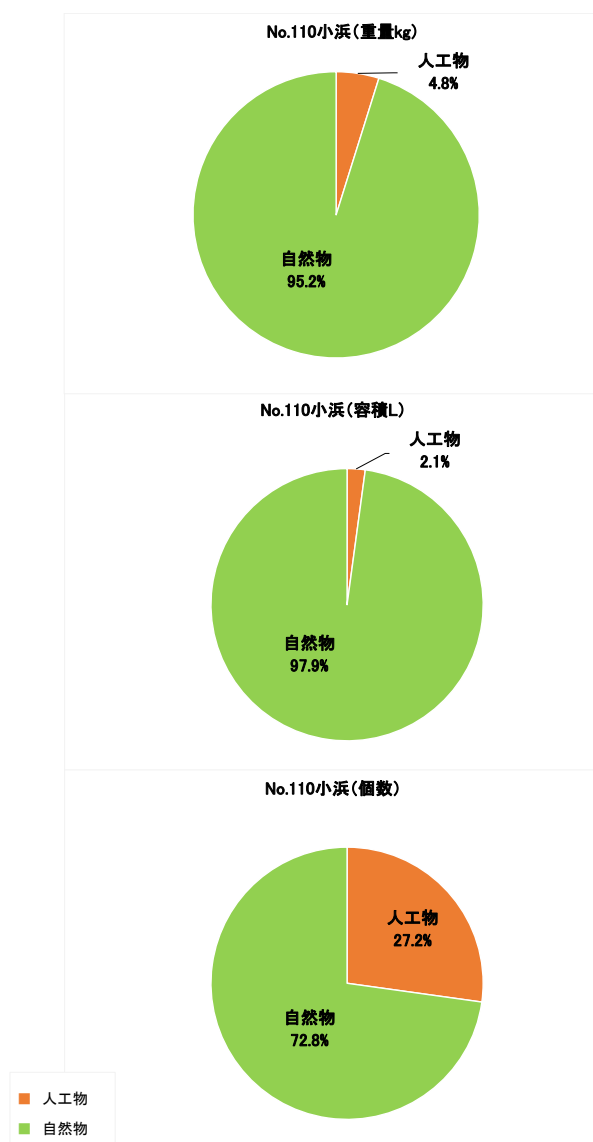


図 9 磐城海岸 No.110 小浜の人工物と自然物の組成比

表 12 磐城海岸 No.110 小浜の人工物の組成

項目	重量 (kg)	容積 (L)	個数
プラスチック	4.02	13.74	87
発泡スチロール	0.04	1.00	0
ゴム	0.09	0.30	4
ガラス、陶器	0.46	0.60	4
金属	0.13	0.50	6
紙、ダンボール	0.01	0.02	2
天然繊維、革	0.00	0.00	0
木 (木材等)	3.03	7.00	8
電化製品、電気機器	0.00	0.00	0
合計	7.78	23.16	111

※シートや袋の破片、硬質プラスチックの破片、発砲スチロールの破片は個数を数えていない。

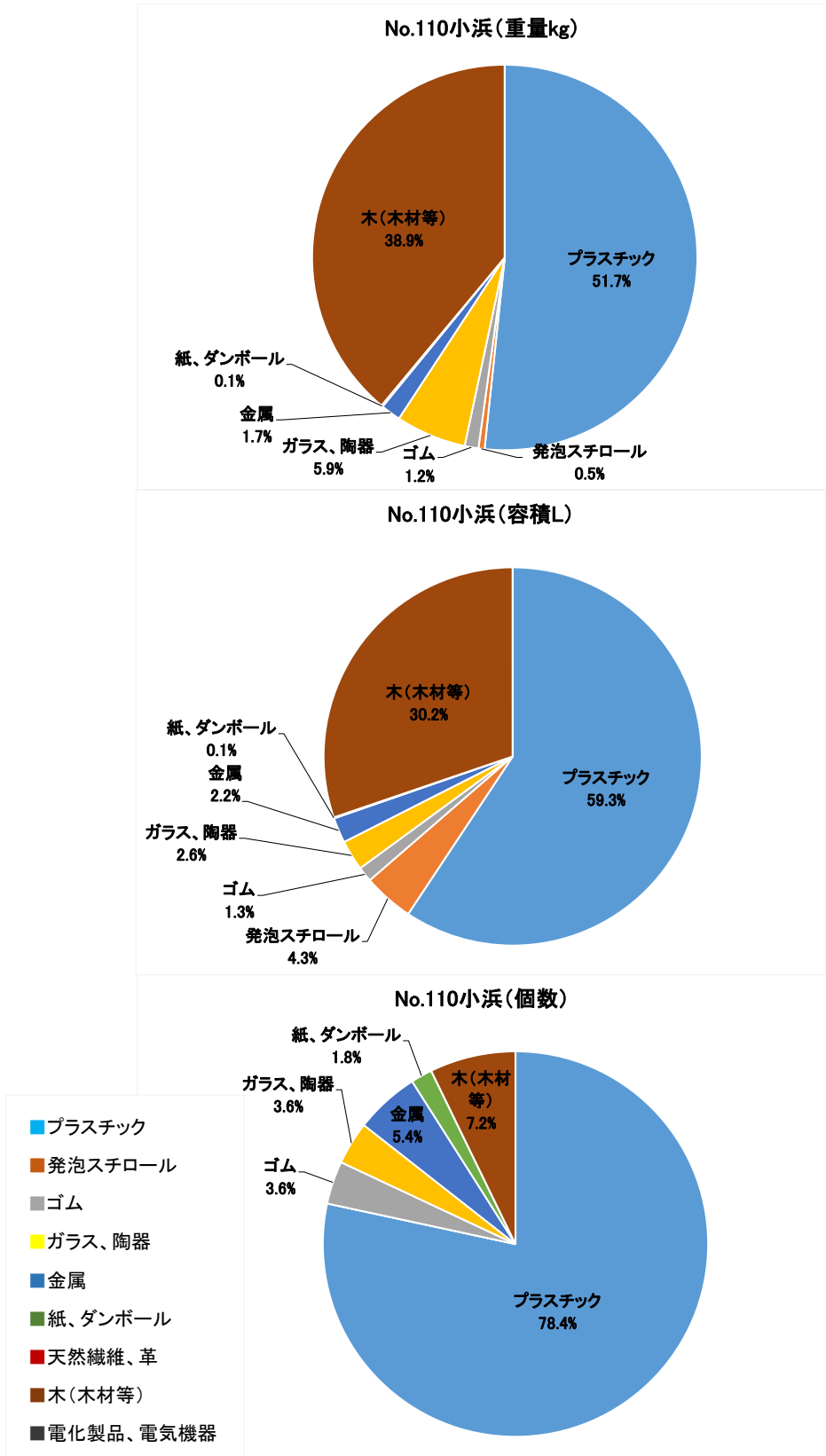


図 10 磐城海岸 No.110 小浜の人工物の組成比

表 13 磐城海岸 No.110 小浜の言語表記等調査結果

ペットボトル				ペットボトルのキャップ			漁業用の浮子(ブラ以外を含む。)		
項目	バーコード記載/表記言語 (最初の2ケタ or 3ケタ)	製造国	個数	項目	表記言語	個数	項目	表記言語	個数
ペット ボト トル	49 or 45	日本	3	ペ ッ ト ボ ト ル の キ ャ ッ プ	日本 (漢字・ひらがな・カタカナ)	6	漁 業 用 の 浮 子	日本 (漢字・ひらがな・カタカナ)	1
	69	中国	0		中国・台湾(漢字)	0		中国・台湾(漢字)	0
	880	韓国	0		韓国(ハングル)	0		韓国(ハングル)	0
	471	台湾	0		ロシア(ロシア語)	0		ロシア(ロシア語)	0
	46	ロシア	0		不明(文字読取れず)	2		不明(文字読取れず)	2
	不明(バーコード読取れず)	—	6		(表記言語)英語	0		(表記言語) _____	—
	バーコード読取可能 ( )	—	—		(表記言語)フランス	0		(表記言語) _____	—
	バーコード読取可能 ( )	—	—		(表記言語)何語かわからず	0		(表記言語) _____	—
	バーコード読取可能 ( )	—	—		(表記言語) _____	—		(表記言語) _____	—
	日本 (漢字・ひらがな・カタカナ)	—	4		(表記言語) _____	—		(表記言語) _____	—
	中国・台湾(漢字)	—	0		(表記言語) _____	—		(表記言語) _____	—
	韓国(ハングル)	—	0		(表記言語) _____	—		(表記言語) _____	—
	ロシア(ロシア語)	—	0		(表記言語) _____	—		(表記言語) _____	—
	不明(文字読取れず)	—	5		(表記言語) _____	—		(表記言語) _____	—
	(表記言語) _____	—	—		(表記言語) _____	—		(表記言語) _____	—
	(表記言語) _____	—	—		(表記言語) _____	—		(表記言語) _____	—
(表記言語) _____	—	—	(表記言語) _____	—	(表記言語) _____	—			

# 添付資料

- ・データシート
- ・写真帳

データシート

# 漂着ごみ データシート①

都道府県名: 福島県  
 実施者: 水上、バク、田中、米山、長坂  
 調査海岸: 相馬 市町村 相馬 海岸  
 調査実施日: 2022 年 7 月 8 日 ~   月   日  
 回収開始時刻: 9 時 00 分  
 回収終了時刻: 12 時 00 分  
 回収作業人数: 5 人

調査海岸の奥行き(平均): 80 m  
 海岸基質:  砂浜  礫浜  磯浜  その他(   )  
 調査地点 中心点: N 37.82823 E 140.96978  
 ※小数点第5位まで記載(例:N 35.00000、E 135.00000)  
 清掃:  3ヶ月以内に実施  1年以内に実施  
 台風・豪雨:  1ヶ月以内  3ヶ月以内  
 重機の使用:  無  有 (バックホウ  台、ユニック  台 その他(   )  
 奥行き方向の回収範囲  全範囲  一部範囲 ( 30 m )  
 河口付近:  島嶼地域:

大分類	必須項目	個数	容積(L) ※1	重量(kg) ※1	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	4	0.02	0.01	
	ボトル	飲料用(ペットボトル) < 1L	4	1.6	0.08
		その他のプラボトル < 1L	1	0.2	0.01
		飲料用(ペットボトル) ≥ 1L	1	2	0.04
		その他のプラボトル類 ≥ 1L	0	0	0
		ストロー	1	0.01	0.01
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	0	0	0	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	2	0.1	0.01	
	ポリ袋(不透明、透明)	0	0	0	
	ライター	1	0.01	0.01	
	シリンジ、注射器	0	0	0	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	9	0.01	0.03	
	シートや袋の破片		0.3	0.10	
	硬質プラスチック破片		0.5	0.17	
	ウレタン	12	0.2	0.02	
	浮子(ブイ)(漁具)	0	0	0	
	ロープ・ひも(漁具)	9	0.2	0.14	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	0	0	0	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	26	0.1	0.02	
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	5	0.05	0.02	
漁網(漁具)	3	0.05	0.01		
その他の漁具(漁具)	7	0.05	0.02		
その他		80	1	0.28	
(発泡スチロール)	コップ、食品容器	1	0.5	0.01	
	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	0	0	0	
	発泡スチロールの破片		1	0.05	
	発泡スチロール製包装材	0	0	0	
	その他	0	0	0	
ゴム ※2	ゴム	4	0.02	0.03	
ガラス、陶器 ※2	ガラス、陶器	1	0.01	0.01	
金属 ※2	金属	4	0.03	0.19	
紙、ダンボール ※2	紙、ダンボール	0	0	0	
天然繊維、革	天然繊維、革	0	0	0	
木(木材等)	木(木材等)	6	3	0.95	
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	0	0	0	
自然物	自然物	206	910	166.97	
その他	その他	0	0	0	

※1 少なくとも「個数及び容積(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容積(L)・重量(kg)」すべて計測する。

※2 ゴム、ガラス、陶器、金属、紙、ダンボール、自然物の個数については、破片類や灌木を除く。





# 漂着ごみ データシート①

都道府県名: 福島県  
 実施者: 水上、パク、田中、米山、長坂  
 調査海岸: 浪江 市(町)村 浪江 海岸  
 調査実施日: 2022 年 7 月 6 日 ~ 7 月 7 日  
 回収開始時刻: 9 時 40 分  
 回収終了時刻: 15 時 30 分  
 回収作業人数: 5 人

調査海岸の奥行き(平均): 70 m  
 海岸基質:  砂浜  礫浜  磯浜  その他( )  
 調査地点 中心点: N 37.47224 E 141.03788  
 ※小数点第5位まで記載(例: N 35.00000, E 135.00000)  
 清掃:  3ヶ月以内に実施  1年以内に実施  
 台風・豪雨:  1ヶ月以内  3ヶ月以内  
 重機の使用:  無  有 (バックホウ  台、ユニック  台 その他( ))  
 奥行き方向の回収範囲  全範囲  一部範囲 ( 50 m)  
 河口付近:  島嶼地域:

大分類	必須項目	個数	容積(L) ※1	重量(kg) ※1	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	16	0.1	0.05	
	ボトル	飲料用(ペットボトル) <1L	7	3	0.47
		その他のプラボトル <1L	1	0.5	0.11
		飲料用(ペットボトル) ≥1L	1	2	0.05
		その他のプラボトル類 ≥1L	0	0	0
	ストロー	2	0.01	0.01	
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	1	0.01	0.01	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	4	0.2	0.02	
	ポリ袋(不透明、透明)	2	0.5	0.21	
	ライター	0	0	0	
	シリンジ、注射器	0	0	0	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	17	0.5	0.38	
	シートや袋の破片		12	4.89	
	硬質プラスチック破片		13	2.96	
	ウレタン	8	0.5	0.15	
	浮子(ブイ)(漁具)	9	7	1.35	
	ロープ・ひも(漁具)	95	28	5.82	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	0	0	0	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	13	0.1	0.01	
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	4	0.1	0.03	
	漁網(漁具)	2	0.1	0.06	
その他の漁具(漁具)	1	0.02	0.03		
その他		82	5	2.85	
(発泡スチロール)	コップ、食品容器	0	0	0	
	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	2	0.4	0.01	
	発泡スチロールの破片		0.5	0.12	
	発泡スチロール製包装材	0	0	0	
	その他	0	0	0	
ゴム ※2	ゴム	3	0.1	0.09	
ガラス、陶器 ※2	ガラス、陶器	3	1.2	0.80	
金属 ※2	金属	2	0.4	0.19	
紙、ダンボール ※2	紙、ダンボール	0	0	0	
天然繊維、革	天然繊維、革	0	0	0	
木(木材等)	木(木材等)	9	4	2.84	
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	0	0	0	
自然物	自然物	647	935	214	
その他	その他	0	0	0	

※1 少なくとも「個数及び容積(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容積(L)・重量(kg)」すべて計測する。

※2 ゴム、ガラス、陶器、金属、紙、ダンボール、自然物の個数については、破片類や灌木を除く。



# 漂着ごみ データシート①

都道府県名: 福島県  
 実施者: 水上、パク、田中、米山、長坂  
 調査海岸: いわき 市 町村 磐城 海岸  
 調査実施日: 2022 年 7 月 5 日 ~   月   日  
 回収開始時刻: 8 時 30 分  
 回収終了時刻: 14 時 00 分  
 回収作業人数: 5 人

調査海岸の奥行き(平均): 45 m  
 海岸基質:  砂浜  礫浜  磯浜  その他(   )  
 調査地点 中心点: N 36.91173 E 140.83473  
 ※小数点第5位まで記載(例: N 35.00000, E 135.00000)  
 清掃:  3ヶ月以内に実施  1年以内に実施  
 台風・豪雨:  1ヶ月以内  3ヶ月以内  
 重機の使用:  無  有 (バックホウ  台、ユニック  台 その他(   )  
 奥行き方向の回収範囲  全範囲  一部範囲 ( 30 m )  
 河口付近:  島嶼地域:

大分類	必須項目	個数	容積(L) ※1	重量(kg) ※1	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	8	0.05	0.02	
	ボトル	飲料用(ペットボトル) < 1L	9	4	0.28
		その他のプラボトル < 1L	2	0.5	0.06
		飲料用(ペットボトル) ≥ 1L	0	0	0
		その他のプラボトル類 ≥ 1L	0	0	0
	ストロー	1	0.01	0.01	
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	0	0	0	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	5	0.3	0.03	
	ポリ袋(不透明、透明)	3	0.05	0.01	
	ライター	0	0	0	
	シリンジ、注射器	0	0	0	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	1	0.01	0.01	
	シートや袋の破片		1	0.45	
	硬質プラスチック破片			0.5	0.15
	ウレタン	6	0.05	0.02	
	浮子(ブイ)(漁具)	3	0.2	0.04	
	ロープ・ひも(漁具)	34	6	2.74	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	0	0	0	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	1	0.02	0.01	
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	1	0.03	0.01	
漁網(漁具)	0	0	0		
その他の漁具(漁具)	7	1	0.17		
その他	6	0.02	0.01		
(発泡スチロール)	コップ、食品容器	0	0	0	
	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	0	0	0	
	発泡スチロールの破片		1	0.04	
	発泡スチロール製包装材	0	0	0	
	その他	0	0	0	
ゴム ※2	ゴム	4	0.3	0.09	
ガラス、陶器 ※2	ガラス、陶器	4	0.6	0.46	
金属 ※2	金属	6	0.5	0.13	
紙、ダンボール ※2	紙、ダンボール	2	0.02	0.01	
天然繊維、革	天然繊維、革	0	0	0	
木(木材等)	木(木材等)	8	7	3.03	
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	0	0	0	
自然物	自然物	297	1055	153.25	
その他	その他	0	0	0	

※1 少なくとも「個数及び容積(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容積(L)・重量(kg)」すべて計測する。

※2 ゴム、ガラス、陶器、金属、紙、ダンボール、自然物の個数については、破片類や灌木を除く。



# 写 真 帳

相馬海岸

No.8 原釜



件名：令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務  
調査年月日：2022年7月8日  
海岸名：相馬海岸 No8 原釜  
**回収前**  
委託者：福島県  
受託者：(株)環境管理センター

令和4年度福島県海岸漂着物等  
モニタリング調査業務

相馬海岸

No.8 原釜

2022年7月8日

回収前



件名：令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務  
調査年月日：2022年7月8日  
海岸名：相馬海岸 No8 原釜  
**回収後**  
委託者：福島県  
受託者：(株)環境管理センター

令和4年度福島県海岸漂着物等  
モニタリング調査業務

相馬海岸

No.8 原釜

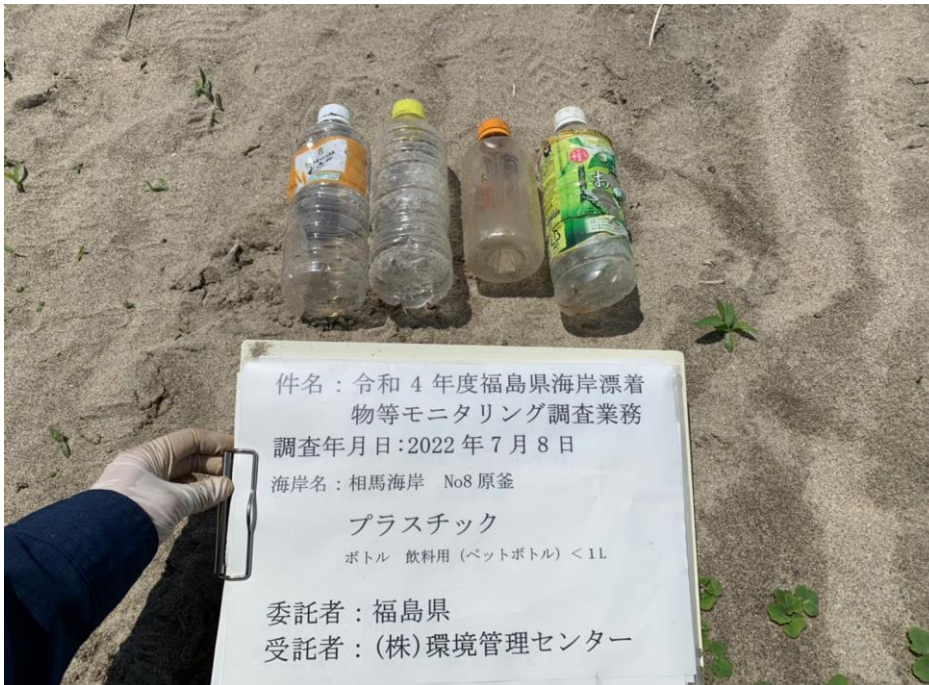
2022年7月8日

回収後





令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
相馬海岸
No.8 原釜
2022年7月8日
プラスチック
ボトルのキャップ、ふた



令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
相馬海岸
No.8 原釜
2022年7月8日
プラスチック
ボトル 飲料用(ペットボトル)<1L



令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
相馬海岸
No.8 原釜
2022年7月8日
プラスチック
ボトル その他のプラボトル<1L





令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
相馬海岸
No.8 原釜
2022年7月8日
プラスチック
ボトル 飲料用(ペットボトル) ≥ 1L



令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
相馬海岸
No.8 原釜
2022年7月8日
プラスチック
ストロー



令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
相馬海岸
No.8 原釜
2022年7月8日
プラスチック
食品容器(ファーストフード、 コップ、ランチボックス、 それに類するもの)





件名：令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務  
 調査年月日：2022年7月8日  
 海岸名：相馬海岸 No8 原釜  
 プラスチック  
 ライター  
 委託者：福島県  
 受託者：(株)環境管理センター

令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務

相馬海岸

No.8 原釜

2022年7月8日

プラスチック

ライター



件名：令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務  
 調査年月日：2022年7月8日  
 海岸名：相馬海岸 No8 原釜  
 プラスチック  
 テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)  
 委託者：福島県  
 受託者：(株)環境管理センター

令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務

相馬海岸

No.8 原釜

2022年7月8日

プラスチック

テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)



件名：令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務  
 調査年月日：2022年7月8日  
 海岸名：相馬海岸 No8 原釜  
 プラスチック  
 シートや袋の破片  
 委託者：福島県  
 受託者：(株)環境管理センター

令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務

相馬海岸

No.8 原釜

2022年7月8日

プラスチック

シートや袋の破片





件名：令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務  
 調査年月日：2022年7月8日  
 海岸名：相馬海岸 No.8 原釜  
 プラスチック  
 硬質プラスチックの破片  
 委託者：福島県  
 受託者：(株)環境管理センター

令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
相馬海岸
No.8 原釜
2022年7月8日
プラスチック
硬質プラスチック破片 ※2.5cm未満は重量・容積から除外した。



件名：令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務  
 調査年月日：2022年7月8日  
 海岸名：相馬海岸 No.8 原釜  
 プラスチック  
 ウレタン  
 委託者：福島県  
 受託者：(株)環境管理センター

令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
相馬海岸
No.8 原釜
2022年7月8日
プラスチック
ウレタン



件名：令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務  
 調査年月日：2022年7月8日  
 海岸名：相馬海岸 No.8 原釜  
 プラスチック  
 ロープ・ひも(漁具)  
 委託者：福島県  
 受託者：(株)環境管理センター

令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
相馬海岸
No.8 原釜
2022年7月8日
プラスチック
ロープ・ひも(漁具)





令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
相馬海岸
No.8 原釜
2022年7月8日
プラスチック
カキ養殖用まめ管（長さ1.5cm）（漁具）



令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
相馬海岸
No.8 原釜
2022年7月8日
プラスチック
カキ養殖用パイプ（長さ10-20cm）（漁具）



令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
相馬海岸
No.8 原釜
2022年7月8日
プラスチック
漁網（漁具）





令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
相馬海岸
No.8 原釜
2022年7月8日
プラスチック
その他の漁具(漁具)



令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
相馬海岸
No.8 原釜
2022年7月8日
プラスチック
その他



令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
相馬海岸
No.8 原釜
2022年7月8日
発砲スチロール
コップ、食品容器





件名：令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務  
 調査年月日：2022年7月8日  
 海岸名：相馬海岸 No8 原釜  
 発砲スチロール  
 発砲スチロールの破片  
 委託者：福島県  
 受託者：(株)環境管理センター

令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
相馬海岸
No.8 原釜
2022年7月8日
発砲スチロール
発砲スチロールの破片



件名：令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務  
 調査年月日：2022年7月8日  
 海岸名：相馬海岸 No8 原釜  
 ゴム  
 ゴム  
 委託者：福島県  
 受託者：(株)環境管理センター

令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
相馬海岸
No.8 原釜
2022年7月8日
ゴム
ゴム



件名：令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務  
 調査年月日：2022年7月8日  
 海岸名：相馬海岸 No8 原釜  
 ガラス、陶器  
 ガラス、陶器  
 委託者：福島県  
 受託者：(株)環境管理センター

令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
相馬海岸
No.8 原釜
2022年7月8日
ガラス、陶器
ガラス、陶器





令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
相馬海岸
No.8 原釜
2022年7月8日
金属
金属



令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
相馬海岸
No.8 原釜
2022年7月8日
木(木材等)
木(木材等)



令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
相馬海岸
No.8 原釜
2022年7月8日
自然物
自然物



浪江海岸

No.42 請戸



令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
浪江海岸
No.42 請戸
2022年7月6日
回収前



令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
浪江海岸
No.42 請戸
2022年7月7日
回収後
看板表記誤り 正：2022年7月7日 誤：2022年7月6日



令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
浪江海岸
No.42 請戸
2022年7月6日
プラスチック
ボトルのキャップ、ふた



令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
浪江海岸
No.42 請戸
2022年7月6日
プラスチック
ボトル 飲料用(ペットボトル)<1L



令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
浪江海岸
No.42 請戸
2022年7月6日
プラスチック
ボトル その他のプラボトル<1L





令和4年度福島県海岸漂着物等  
モニタリング調査業務

浪江海岸

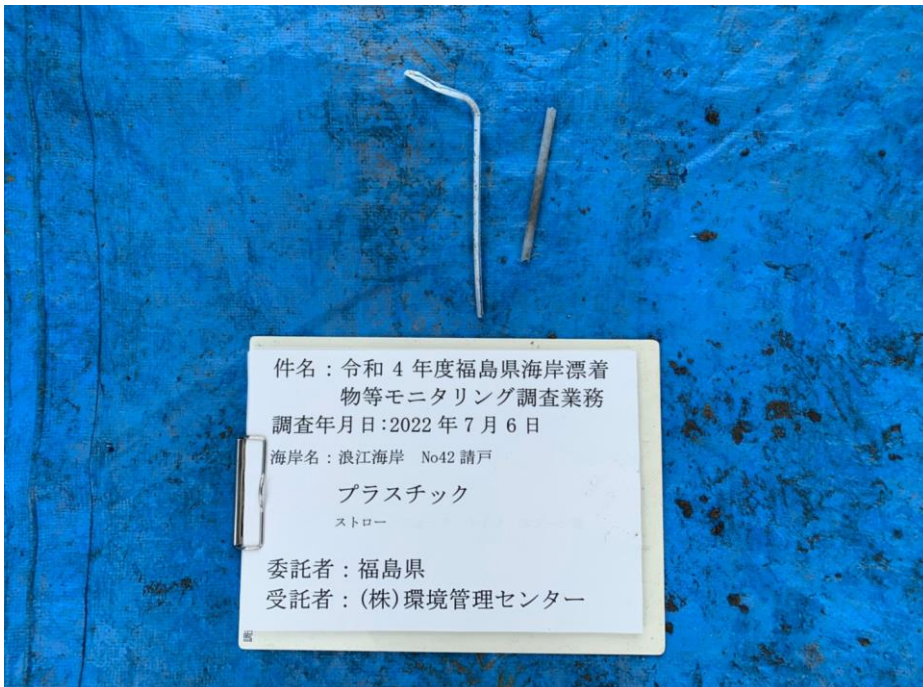
No.42 請戸

2022年7月6日

プラスチック

ボトル  
飲料用(ペットボトル) ≥ 1L

件名：令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務  
調査年月日：2022年7月6日  
海岸名：浪江海岸 No.42 請戸  
プラスチック  
ボトル 飲料用(ペットボトル) ≥ 1L  
委託者：福島県  
受託者：(株)環境管理センター



令和4年度福島県海岸漂着物等  
モニタリング調査業務

浪江海岸

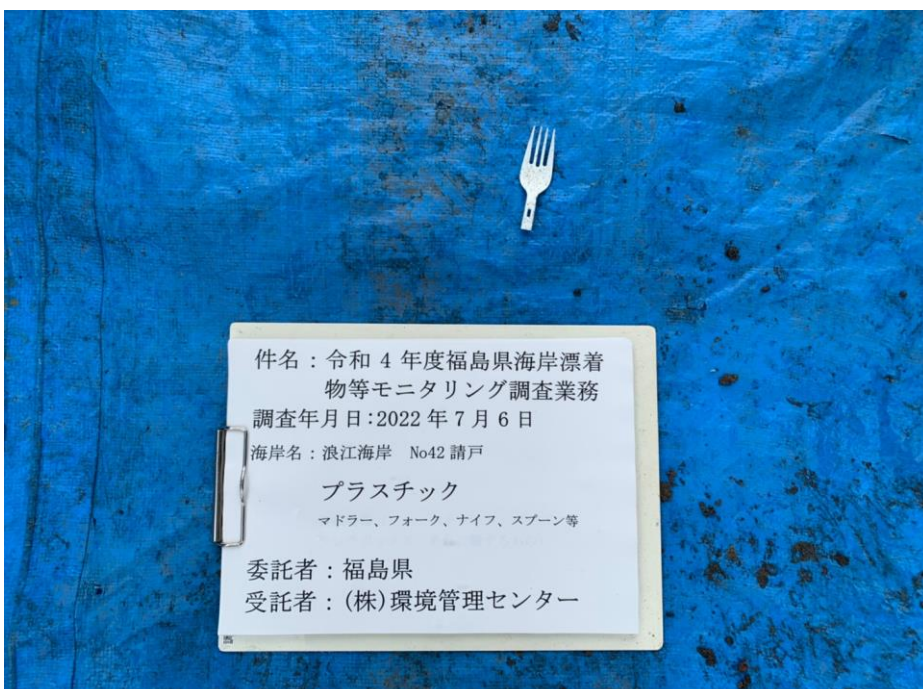
No.42 請戸

2022年7月6日

プラスチック

ストロー

件名：令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務  
調査年月日：2022年7月6日  
海岸名：浪江海岸 No.42 請戸  
プラスチック  
ストロー  
委託者：福島県  
受託者：(株)環境管理センター



令和4年度福島県海岸漂着物等  
モニタリング調査業務

浪江海岸

No.42 請戸

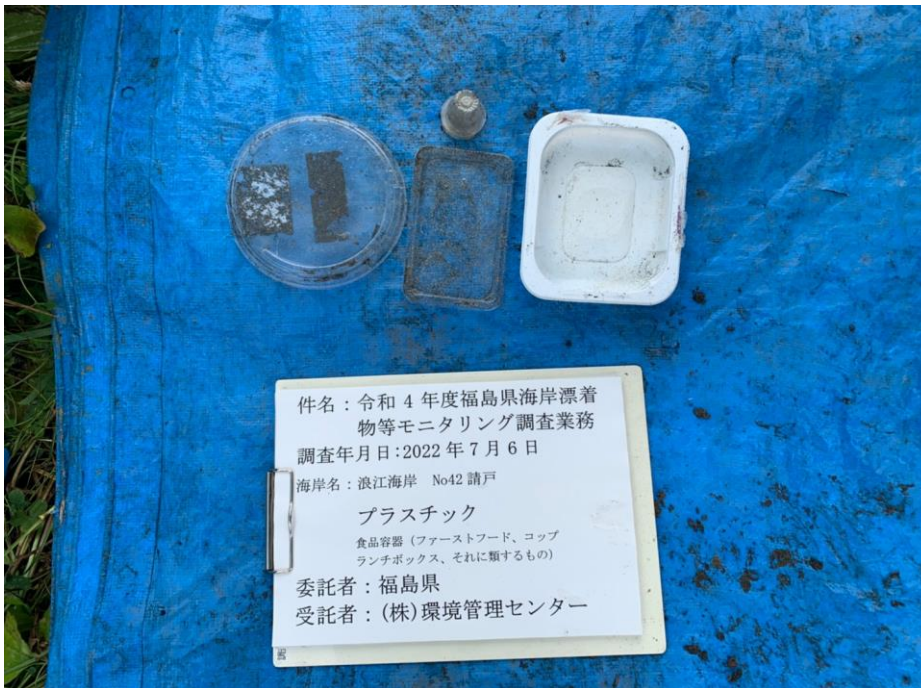
2022年7月6日

プラスチック

マドラー、フォーク、  
ナイフ、スプーン等

件名：令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務  
調査年月日：2022年7月6日  
海岸名：浪江海岸 No.42 請戸  
プラスチック  
マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等  
委託者：福島県  
受託者：(株)環境管理センター





令和4年度福島県海岸漂着物等  
モニタリング調査業務

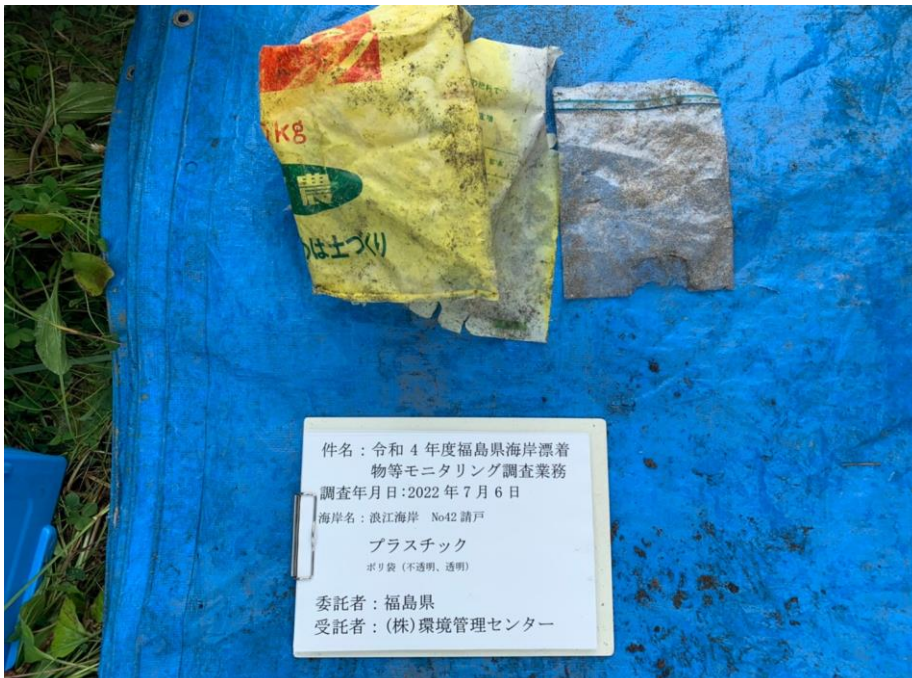
浪江海岸

No.42 請戸

2022年7月6日

プラスチック

食品容器（ファーストフード、  
コップ、ランチボックス、  
それに類するもの）



令和4年度福島県海岸漂着物等  
モニタリング調査業務

浪江海岸

No.42 請戸

2022年7月6日

プラスチック

ポリ袋（不透明、透明）



令和4年度福島県海岸漂着物等  
モニタリング調査業務

浪江海岸

No.42 請戸

2022年7月6日

プラスチック

テープ（荷造りバンド、  
ビニールテープ）





令和4年度福島県海岸漂着物等  
 モニタリング調査業務

浪江海岸

No.42 請戸

2022年7月6日

プラスチック

シートや袋の破片



令和4年度福島県海岸漂着物等  
 モニタリング調査業務

浪江海岸

No.42 請戸

2022年7月6日

プラスチック

硬質プラスチック破片  
 ※2.5cm未満は重量・容積から除外した。



令和4年度福島県海岸漂着物等  
 モニタリング調査業務

浪江海岸

No.42 請戸

2022年7月6日

プラスチック

硬質プラスチック破片  
 ※2.5cm未満は重量・容積から除外した。





令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
浪江海岸
No.42 請戸
2022年7月6日
プラスチック
ウレタン

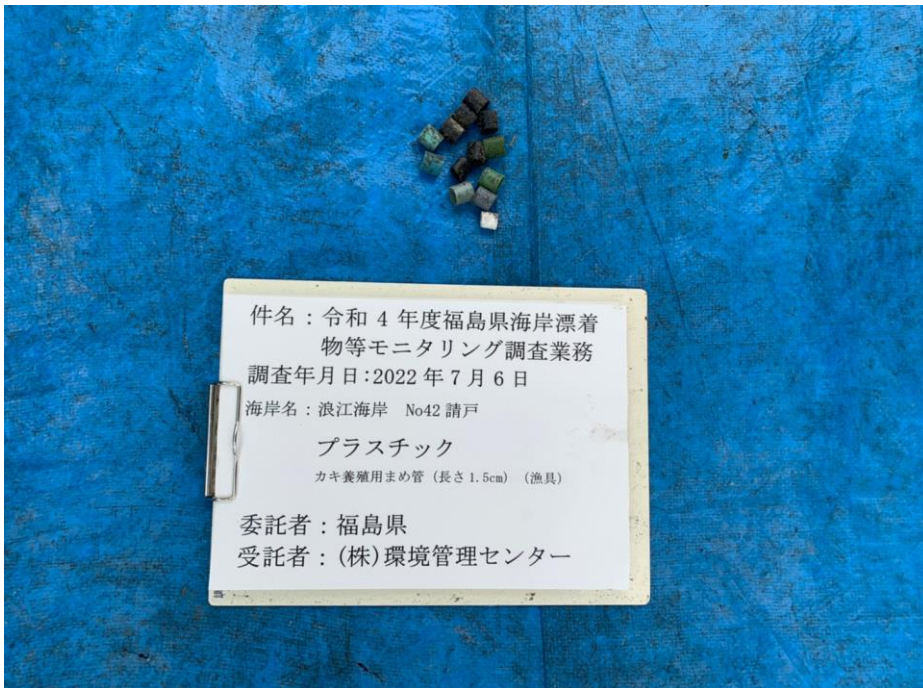


令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
浪江海岸
No.42 請戸
2022年7月6日
プラスチック
浮子(ブイ)(漁具)



令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
浪江海岸
No.42 請戸
2022年7月6日
プラスチック
ロープ・ひも (漁具)

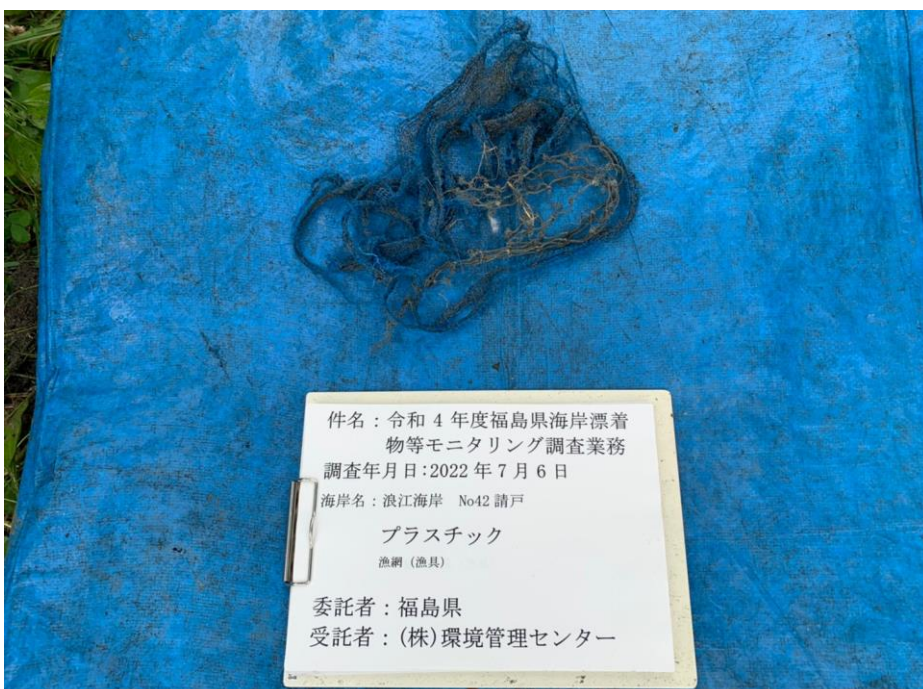




令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
浪江海岸
No.42 請戸
2022年7月6日
プラスチック
カキ養殖用まめ管 （長さ1.5cm）（漁具）



令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
浪江海岸
No.42 請戸
2022年7月6日
プラスチック
カキ養殖用パイプ （長さ10-20cm）（漁具）



令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
浪江海岸
No.42 請戸
2022年7月6日
プラスチック
漁網（漁具）





令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
浪江海岸
No.42 請戸
2022年7月6日
プラスチック
その他の漁具(漁具)



令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
浪江海岸
No.42 請戸
2022年7月6日
プラスチック
その他

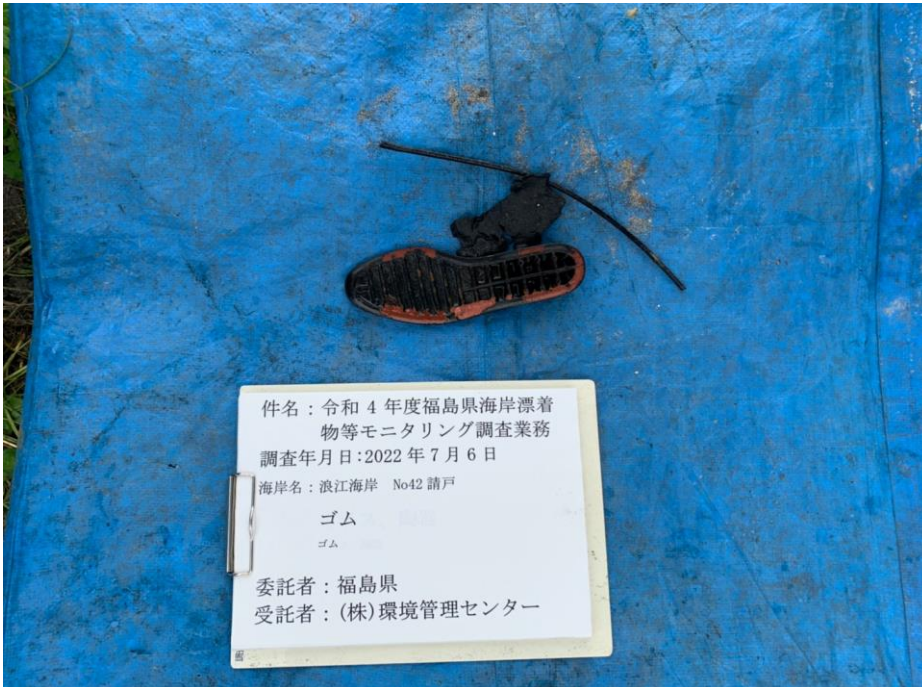


令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
浪江海岸
No.42 請戸
2022年7月6日
発泡スチロール
発泡スチロール製フロート、浮子（ブイ）





令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
浪江海岸
No.42 請戸
2022年7月6日
発砲スチロール
発砲スチロールの破片



令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
浪江海岸
No.42 請戸
2022年7月6日
ゴム
ゴム



令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
浪江海岸
No.42 請戸
2022年7月6日
ガラス、陶器
ガラス、陶器





令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
浪江海岸
No.42 請戸
2022年7月6日
金属
金属



令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
浪江海岸
No.42 請戸
2022年7月6日
木(木材等)
木(木材等)



令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
浪江海岸
No.42 請戸
2022年7月7日
自然物
自然物
看板表記誤り 正：2022年7月7日 誤：2022年7月6日



令和4年度福島県海岸漂着物等  
モニタリング調査業務

浪江海岸

No.42 請戸

2022年7月7日

自然物

自然物

看板表記誤り  
正：2022年7月7日  
誤：2022年7月6日



磐城海岸

No. 110 小浜



令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
回収前



令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
回収後





件名：令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務  
 調査年月日：2022年7月5日  
 海岸名：磐城海岸 No.110 小浜  
 プラスチック  
 ボトルのキャップ、ふた  
 委託者：福島県  
 受託者：(株)環境管理センター

令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
プラスチック
ボトルのキャップ、ふた



件名：令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務  
 調査年月日：2022年7月5日  
 海岸名：磐城海岸 No.110 小浜  
 プラスチック  
 ボトル 飲料用(ペットボトル)<1L  
 委託者：福島県  
 受託者：(株)環境管理センター

令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
プラスチック
ボトル 飲料用(ペットボトル)<1L



件名：令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務  
 調査年月日：2022年7月5日  
 海岸名：磐城海岸 No.110 小浜  
 プラスチック  
 ボトル その他のプラボトル<1L  
 委託者：福島県  
 受託者：(株)環境管理センター

令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
プラスチック
ボトル その他のプラボトル<1L





令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
プラスチック
ストロー



令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
プラスチック
食品容器 (ファーストフード、 コップ、ランチボックス、 それに類するもの)



令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
プラスチック
ポリ袋 (不透明、透明)





令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
プラスチック
テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）

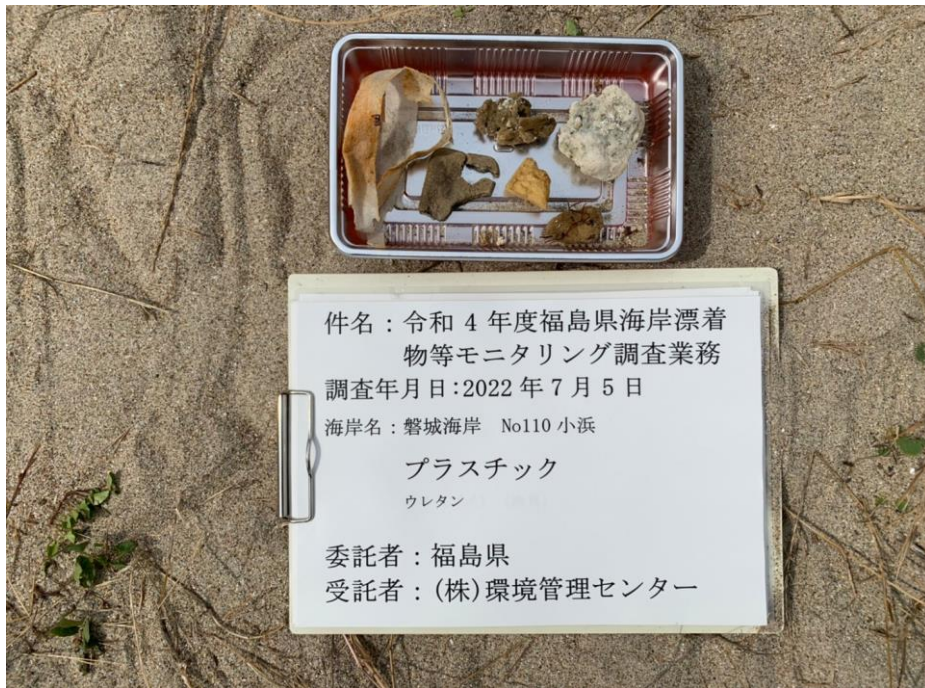


令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
プラスチック
シートや袋の破片



令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
プラスチック
硬質プラスチック破片 ※2.5cm未満は重量・容積から除外した。





令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
プラスチック
ウレタン



令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
プラスチック
浮子(ブイ) (漁具)



令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
プラスチック
ロープ・ひも (漁具)





令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
プラスチック
カキ養殖用まめ管（長さ1.5cm）（漁具）



令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
プラスチック
カキ養殖用パイプ（長さ10-20cm）（漁具）



令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
プラスチック
その他の漁具（漁具）





令和 4 年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
プラスチック
その他



令和 4 年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
発砲スチロール
発砲スチロールの破片



令和 4 年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
ゴム
ゴム





令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
ガラス、陶器
ガラス、陶器



令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
金属
金属



令和4年度福島県海岸漂着物等モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
紙、段ボール
紙、段ボール





令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
木(木材等)
木(木材等)



令和4年度福島県海岸漂着物等 モニタリング調査業務
磐城海岸
No.110 小浜
2022年7月5日
自然物
自然物